

令和4年3月22日	
資料提供	
担当課	観光振興課
担当者	藏光、竹本
電話	073-441-2777

写真家の阿部秀樹さんから 紀伊半島沖の写真の寄贈をいただきました！

日本の海と、それを取り巻く人や生物のさまざまなすがたをテーマとして撮影されている写真家の阿部秀樹さんから黒潮、特に紀伊半島沖の海中を撮影した作品（19点）を寄贈いただきました。

本作品は、和歌山県立図書館や県立紀南図書館などで展示し、県民の皆様普段の生活では見たり、触れたりすることのできない紀伊半島沖の海中について知っていただければと思いますので、展示会にぜひお出かけください。

<経緯>

2021年、フジフィルム スクエアにおいて『海から見たニッポン』をテーマに2つの写真展が開催されました。

そのひとつに、5人の水中写真家による写真展「海流が育むいのち」で、日本の自然の成り立ちや私たちの暮らしに大きな影響を与えている2つの海流、「黒潮」と「親潮」に着目したもので、阿部さんは紀伊半島沖を流れる黒潮を担当されました。

今回、その写真展で使われた和歌山県沖の写真を活用いただけたらと、寄贈いただきました。

<写真の展示>

展示場所 和歌山県立図書館

開催日 令和4年3月23日（水）～ 5月11日（水）

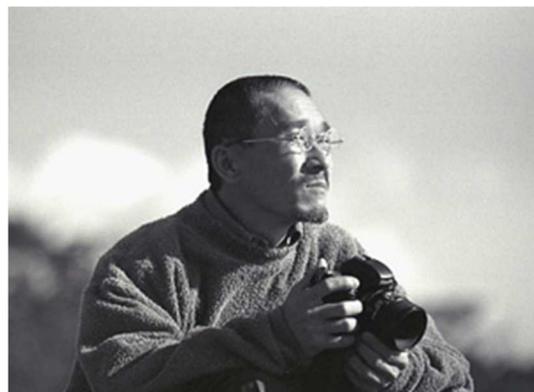


<写真家 阿部秀樹さんの紹介>

1957年、神奈川県藤沢市に生まれる。
立正大学文学部地理学科卒業、現在阿部秀樹写真事務所代表。

最近では日本国内の海に眼を向け知床半島から沖縄まで幅広く活動している。ライフテーマとして水中生物の繁殖行動、夜の海、水中の四季、の撮影がある。

又頭足類（イカ・タコ）では国内外の研究者との連携で撮影をおこなっている。



「第18期 燦々ぬまづ大使」（沼津市観光大使）
仏映画「OCEANS」スチル写真担当（一部）